

The background of the slide is a light green color with a faint, semi-transparent image of a glowing lightbulb and a circuit board. The lightbulb is positioned in the upper right quadrant, and the circuit board is in the lower left. A dark blue horizontal bar is centered across the middle of the slide, containing white Japanese text.

# 小中一貫教育における情報教育のあゆみ

# 奈良市の情報教育のあゆみ

平成27年度  
小中一貫教育  
全市展開

平成27年度以降

## 小中一貫教育実施校

3年生以上週1時間の情報科による系統的な指導

全ての市立小中学校児童生徒の一定の情報活用能力を育成するための基準となる目標及び具体的な実践事例等を示したものが情報教育スタンダード



指導計画や内容、目標が明確で、情報活用能力の一定の質と指導が保障される

平成26年度  
ICT教育モデル実証校  
5校を指定し、研究を推進

## 小中一貫教育実施校 以外の市立小中学校

各教科・領域に関連した学習活動での指導

平成25年度  
指定研究員によるタブ  
レット端末を活用した実践  
の研究



学習活動や指導者により、指導内容や時間が変わり、児童生徒の活用能力に差が生まれる可能性がある。

平成17年度  
小中一貫校開校、新設教  
科、情報科開始

平成26年度まで

# 奈良市の情報教育に係る時間数の現状

	一体型一貫校	連携型一貫校	一般小中学校
平成17年～26年	情報科35	情報科35	0
平成27年度より 総合「なら」をはじめ、 各教科等での取扱	一体モデル校	連携モデル校	スタート校
	小3～6年70h 中1年35h 中2・3年55h	小3・4年35h 小5・6年70h 中1年35h 中2・3年52h	小3・4年35h 小5・6年70h 中1年45h 中2・3年65h

平成27年度以降は各モデル校で設定された時間内で情報スタンダードの基づいて取り組む。

# 奈良市の情報科の時間数の現状

	平成17年～現在		平成27年
一体モデル校	情報科35		0
連携モデル校	情報科35	▶	0
スタート校	0		0

各教科等で取扱

**情報教育をやらなくていいわけではない**

**教科等で取り組む = これまでの35時間を全教科・領域に分配して取り組んでいくようなイメージ**

小中一貫教育の開始により、奈良市の子どもに最低限の情報活用に関する能力を身に付けるための指導基準＝情報教育スタンダード

小中一貫教育校  
情報科のカリキュラムに基づいて系統的な指導を受けているため、発達段階に応じた最低限の情報活用能力が育っている。

小中一貫教育校  
以外の学校

小中一貫教育校

情報教育で育てたい  
4つの力

奈良市情報教育  
スタンダードの目標

指導カリキュラムの  
違いから生まれる情  
報活用能力の成長差

小中一貫教育校  
以外の学校  
指導者によるICT  
活用に影響されやすく、  
指導者によって情報活  
用能力に差が生まれる。

# 奈良市情報教育スタンダードとは



# スタンダード作成趣旨

## 小中一貫校における情報科の目標

機器等の活用を通して、情報の取り扱いに関する基礎的な知識と技能を身に付け、積極的に情報を集め、分析し、発信し、進んで生活に生かそうとする態度を育てる。特に、地域を教材とした持続発展教育を基盤とし、情報活用能力を育成する。

## 学習指導要領 小学校

各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

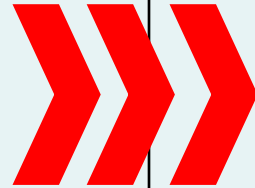
## 学習指導要領 中学校

各教科等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

# 学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」 に情報に関する記述がある教科・領域

## 【小学校】

社会, 算数, 理科, 道徳  
総合的な学習の時間



## 【中学校】

社会, 数学, 理科, 音楽  
美術, 技術・家庭,  
外国語, 道徳  
総合的な学習の時間

## 奈良市情報教育スタンダード

低学年

中学年

高学年

中学校

基礎基本

応用

発展



# 学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」に情報に関する記述がある教科・領域の総時間数（小学校）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
社会			70	90	100	105
算数			175	175	175	175
理科			90	105	105	105
生活	92	95				
道徳	34	35	35	35	35	35
総合的な学習	一体モデル校		70	70	70	70
	連携モデル校		35	35	70	70
	スタート校		35	35	70	70
一体モデル校	126 (860)	130 (920)	440 (980)	450 (1015)	485 (1015)	490 (1015)
連携モデル校	126 (850)	130 (910)	405 (945)	415 (980)	485 (980)	490 (980)
スタート校	126 (850)	130 (910)	405 (945)	415 (980)	485 (980)	490 (980)

# 学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」に情報に関する記述がある教科・領域の総時間数（中学校）

	1年			2年			3年		
社会	105			105			140		
数学	140			120(一体)	105		140		
理科	120(一体)	105		140			140		
音楽	45			35			35		
美術	45			35			35		
技術・家庭	70			70			35		
外国語	175 (一体)	155 (連携)	145 (スタート)	175 (一体)	155 (連携)	145 (スタート)	175 (一体)	155 (連携)	145 (スタート)
道徳	35			35			35		
総合的な学習の時間	35 (一体)	35 (連携)	45 (スタート)	55 (一体)	52 (連携)	65 (スタート)	55 (一体)	52 (連携)	65 (スタート)
一体モデル校	770(1050)			770(1050)			790(1050)		
連携モデル校	735(1015)			732(1015)			767(1015)		
スタート校	735(1015)			735(1015)			770(1015)		

# 情報教育で育てておきたい4つの力

- ・ 情報の読解・活用能力
- ・ 情報の創造・発信力
- ・ 情報安全に関する知識・技能
- ・ 情報社会の規範に関する知識・態度

## 奈良市情報教育スタンダードの目標

- ・ 各教科等の学習活動において、ICT機器の積極的な活用を通して基本的操作を身に付け、必要な情報を適切且つ主体的に収集・判断・表現・発信できる情報活用能力を育成するとともに、情報モラルの必要性を理解し実践する態度を育てる。

# 奈良市情報教育の目標

4つの能力	情報の読解・活用力	情報の創造・発信力	情報安全に関する知識・技能	情報社会の規範に対する知識・態度
奈良市情報教育 スタンダード	基本的操作を身に付け、必要な情報を適切かつ主体的に収集・判断・表現・発信できる情報活用能力を育成する。		情報モラルの必要性を理解し実践する態度を育てる。	

**各教科等の学習活動における積極的なICT機器の活用をとおして**